

在外公館長表彰の実施(クリモフ東洋写本研究所上級研究員及びブルミストロヴァ茶道研究グループ「茶の湯」代表)

平成26年10月17日  
在サンクトペテルブルク日本国総領事館

10月16日、クリモフ東洋写本研究所上級研究員及びブルミストロヴァ茶道研究グループ「茶の湯」代表の在外公館長表彰授与式が執り行われました。

クリモフ上級研究員は、19世紀の日露関係、日本の歴史、浄土真宗を研究しており、東洋写本研究所と日本の研究機関との協力関係の促進にも尽力しています。クリモフ研究員はまた、サンクトペテルブルク国立大学、東洋大学、キリスト教アカデミー及び日本センターで日本語等を教えており、日本研究家の養成、親日層の拡大に貢献しています。

ブルミストロヴァ茶道研究グループ「茶の湯」代表は、毎年「日本の春」「日本の秋」フェスティバルの枠組みで開催されている日本文化関連事業等に積極的に参加しているほか、当地第83番学校でも生け花や茶道の授業を行うなど、日本文化に対する理解の向上に寄与しています。また、ブルミストロヴァ代表はこれまで当館主催の多数の文化事業の実施にも支援を提供しています。

以上のような功績を讃え、山村総領事は両氏にそれぞれ表彰状を授与しました。両氏からは、本表彰に対する謝辞が述べられるとともに、クリモフ上級研究員は、今後さらに当地における日本研究・日本語教育を盛り上げていきたい旨、ブルミストロヴァ代表は、総領事館との長年の協力関係を今後も維持・進化させていきたい旨述べました。

